

第12回企画展

仏像修理の現場

— 美術院国宝修理所・伝統のわざと新しいわざ —

期間

平成29年1月23日(月)～3月11日(土)

10時～16時30分(入館受付は16時まで)

※日曜・祝日は休館 ※但し、2月5日(日)、19日(日)は開館

場所

京都産業大学ギャラリー

京都市下京区中堂寺命婦町1-10 京都産業大学壬生校地むすびわざ館2階

講演会

「公益財団法人美術院 仏像修理100年の足跡とこれから」

■講師：八坂 寿史氏(公益財団法人美術院 西洞院工房長)

■日時：平成29年2月19日(日)14時開演

※詳しくは裏面をご覧ください。

入場無料

「仏像修理の様子」
(阿弥陀如来像 中品上生/浄真寺蔵)

主催：京都産業大学ギャラリー

協力：公益財団法人美術院/音羽山 清水寺/魚山大原寺 勝林院・実光院・宝泉院/
金龍山 浅草寺/九品佛 浄真寺/華嚴宗大本山 東大寺/高野山真言宗 財賀寺[愛知県]/
真言宗総本山 教王護国寺(東寺)



むすんで、うみだす。

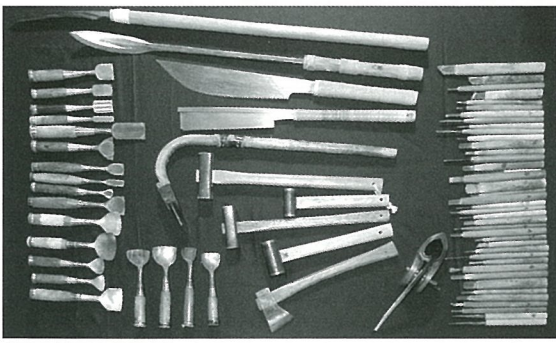
京都産業大学

仏像修理の現場

— 美術院国宝修理所・
伝統のわざと新しいわざ —

近年、文化財修復についての報道を目にする機会が増えました。そこでは修復前の様子と見事に修復された姿がクローズアップされています。しかし、文化財修復の作業工程についてはさほど多くは知られていません。

今回の展示では公益財団法人美術院 国宝修理所における仏像修復を中心に、文化財を次世代に伝えるために先人より受け継がれてきた理念や新たに取り入れられた技術に焦点を当て、普段我々が目にする文化財が「どのようにしてそこに存在し得るのか」、その一端を紹介します。



【修復に使用される道具】



【古色仕上げの様子】(二十八部衆像のうち阿修羅王像/財賀寺蔵)

— 講演会 —

「公益財団法人美術院 仏像修理100年の足跡とこれから」

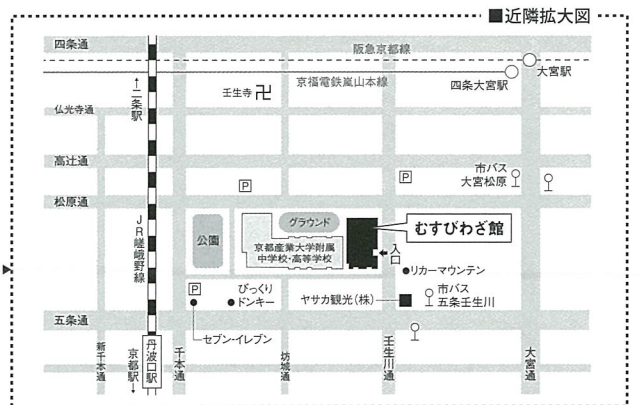
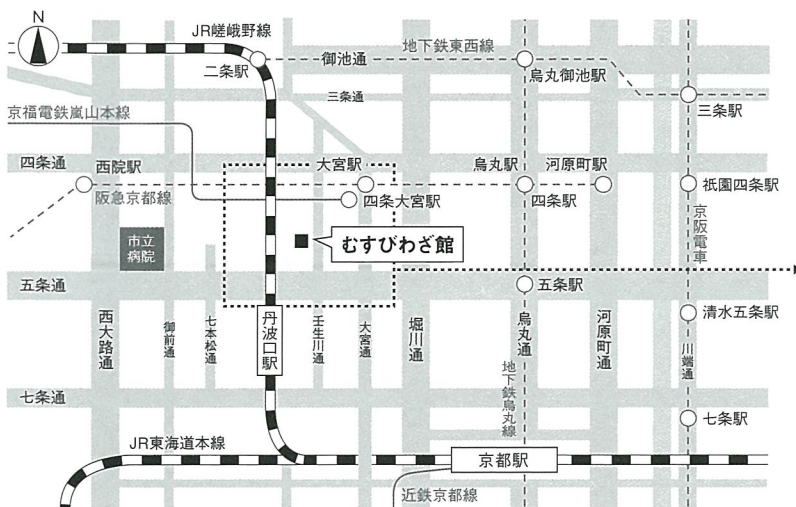
■講師：八坂 寿史氏(公益財団法人美術院 西洞院工房長)

■日時：平成29年2月19日(日)……13時30分開場/14時開演/15時30分終演予定

■会場：京都産業大学むすびわざ館ホール(京都市下京区中堂寺命婦町1-10)

■定員：350名 ●申込不要●先着順●入場無料

*直接会場までお越しください。当日、定員になり次第ご入場をお断りすることがございます。あらかじめご了承ください。



交通案内 ●丹波口(JR)…徒歩約4分
●大宮(阪急)…徒歩約7分
●四条大宮(京福電鉄)…徒歩約7分

※駐車場・駐輪場はございませんので、ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。

問合せ先 京都産業大学むすびわざ館事務室

TEL.075-277-0254 FAX.075-277-1699

<http://www.kyoto-su.ac.jp/facilities/musubiwaza/gallery/index.html>

次回予告 ▶ 平成29年3月22日(水)～4月8日(土) 常設展